

1400年にマラッカ王国が誕生し繁栄した後、400年以上の間にポルトガル・オランダ・イギリスとヨーロッパの列強国に支配され、独特の文化を形成した古都マラッカ。街にはヨーロッパの影響を受けた街並みと地元マレーとの融合で出来上がった特有の文化を見ることができます。2008年7月には、ペナン島ジョージタウンと共にマレーシアでは初のUNESCO 世界文化遺産に登録されました。

☆ アクセス方法

■ クアラルンプール市内から

《バス》 TBS高速バスターミナルから長距離高速バスにて約2時間～2時間半。
マラッカバスターミナル→市内までバスで約30分。

《鉄道》 マレー鉄道KTMにてKLセントラル駅→ブラウセバン駅まで約2時間。ブラウセバン駅→市内までは車で約1時間



ムラカ・キリスト教会 (Christ Church Melaka) オランダ広場 (Dutch Square)

1753年、オランダ統治時代に建てられたレンガ色の教会。周辺は観光客やトライショーのたまり場になっており、内部にはタイル画の[最後の晩餐]があります。



セントポール教会 (St Paul's Church)

ポルトガル支配の頃、マラッカは西洋の宣教師たちの活動拠点であり、1521年にポルトガル人によってセントポールの丘の上に教会が建てられた。ザビエルの遺骨はここに9ヶ月間安置されインドのゴアに移されました。



サンチャゴ砦 (Fort de Santiago)

151年にポルトガルの総督によって建てられた砦。マラッカのシンボルで、外からの攻撃対抗する為に作られ、当時はこの周りは高い塀で囲われていましたが19世紀にイギリス人によって取り壊されたからは石造りの門と大砲のみ残っています



ジョンカーズストリート (Jonker's street)

マラッカ市内のジョンカーズストリートには、昔ながらの建物を利用したお洒落なお店が立ち並び、多くの人で賑わっています。マラッカで有名なチキン・ライスボール店も多数あります！



青雲寺 (Cheng Hoon Teng Temple)

1646年に中国から運んだ資材で建てられており、本道の屋根の上には動物や人の小さな像が飾られています。参拝者が絶えないマレーシア最古の中国寺院です。

